

8-4-33 マネジメントシステム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の運営方針

「システム改善」「環境配慮」「PFI」「PM」の5つの専門委員会により、広くマネジメントの実効性向上と、普及拡大を目指し、管理、業務の両面から活動を進めた。

委員会の活動目的は次の4点に関連する調査・研究および広報とした。①マネジメントシステムの実効性向上、②環境配慮の推進、③PFI/PPP市場拡大・啓発活動の取り組み、④CM/PM関連技術の向上・周知とマネジメント領域の拡大への取り組み。

(2) 委員会の開催

委員会は10回開催した。

(3) 白書ならびに要望と提案

令和元年度「建設コンサルタント白書」の「CM方式の活用」「業務における品質管理の実情」「業務プロセスに併せた照査の改善」「設計責任の明確化」「環境配慮の推進」及び「CSRの推進」を執筆した。また、「要望と提案」においては「人材確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備」の原稿を作成した。

(4) マネジメントセミナーの開催

「マネジメントセミナー」を各支部の協力を得て令和元年7月に開催した。セミナー実施内容は、「PPP/PFIの政策動向と事例紹介」、「CM方式の更なる活用に向けて」、「環境配慮経営に向けて」、「マネジメントシステムの効果的運用に向けて」、「品質の確保・向上に向けて」の全5講で、会員参加は450社1,341名、発注者は49名と合計1,390名の参加をいただいた。アンケート調査結果によれば、各セッションとも高い評価を得て、「非常に役立つ」、「役に立つ」との回答が80～98%、また98%の方々から今後の継続開催の要望があった。

(5) PFI 専門家派遣、PFI セミナー等の開催

PFI 専門委員会では、内閣府の協力依頼に基づく地方自治体への講師派遣に7件対応した。

12月には内閣府PPP/PFI推進室と、国の推進する政策やPPP/PFIの課題等についての意見交換会を昨年度に引き続き開催した（内閣府5名出席）。また「多様化するPPP/PFI」のテーマで、PFIセミナーを開催し、非常に好評であった（令和元年11月22日 東京にて開催）。

(6) 「CM方式活用の手引き（案）」の改定

PM専門委員会では、9支部とCM方式に対する意見交換会（7月～9月）を実施し、支部の要望を反映し、近畿支部では和歌山市との勉強会（令和元年10月16日）、関東支部ではPMセミナー（令和元年12月16日）を開催し、非常に好評であった。また、国土交通省土地・建設産業局主催のCM制度検討会（略称）において共通仕様書・契約約款の策定を支援した。

(7) 環境配慮の手引き更新、アンケート実施等

環境配慮専門委員会では、「環境配慮の手引き」の環境情報を更新し2019年版とした。また2019年4月に「環境配慮に関する企業アンケート」を実施し、結果をとりまとめた。さらに「農村地域の活性化について」及び「気候変動による影響と適応策」をテーマとした講演会を開催した（令和2年1月27日開催）。

(8) マネジメントシステムに関する勉強会開催

システム改善専門委員会では、「建設コンサルタントにおけるアセットマネジメントシステム認証の意義」と題した勉強会を開催した（令和2年2月26日開催）。

(9) その他の活動

当委員会の委員は、土木学会（ISO対応特別委員会、公共事業における技術力結集に関する研究小委員会、等）、UR都市機構、国土交通省の委員会に委員として参加する他、日本アセットマネジメント協会の活動にも協力している。

2. 次年度の活動について

引き続き、それぞれの専門委員会活動を通して会員企業への情報提供と事業の啓発及び拡大に努める。

（マネジメントシステム委員会委員長 水野 高志）